



豊後大野市立緒方中学校学校だより

青雲の大志

令和5年12月25日

NO.24-1 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

2学期終業式

校長式辞

■2学期の始業式の時に皆さんに伝えました。2学期は、中学校生活が最も充実し、皆さんが最も成長する学期だと。私は、日々成長していくみなさんの姿を見ることができ、幸せな気持ちになったことが数えきれないほどあります。

■きつく苦しい練習に粘り強く取り組み、日に日に心も体も逞しくなっていた駅伝チーム。個性を響き合わせながら、協力して素晴らしい舞台を作り上げた文化祭のステージ。心を重ね、過去の歌声を披露した音楽祭。知恵を出し合いながらチームワークでやり遂げた2年生の京都一日自主研修。

■各行事の取組の中で、皆さん方は、それぞれの立場で、悩んだり、諦めかけたり、逃げだしそうになったり、友だちとじっくりいかななくて辛い気持ちになったりしたこともありました。

■けれど、同時に、自分自身の良さや人の役に立つことの価値に気づいたり、友だちの優しさや、協力すれば乗り越えられるものがたくさんあることに気づいたりしたことでしょう。それが、あなた方の成長そのものなのです。

■出来栄や結果はもちろん大事ですが、**その時々**に目標を立て、**振り返って改善・調整**、**チャレンジ精神を発揮**したり、**よりよく生きていこうと頑張った**りしたこと、**その歩みの一歩一歩が成長**なのです。

■3年生、「受験は団体戦」という言葉をずっと心に留めてくれました。放課後だけでなく、昼休みも友達と一緒に問題集を広げている姿を見ると、「がんばれ!」という気持ちになります。

気持ちが重くなりがちな時に暖かな笑いをもちたらず仲間との絆を確かめ合いながら、志望校を変えなければならないようなことがたとえあったとしても、それぞれが**納得できる取組**、「**中学校時代、頑張ったな**」と胸張れる**取組**を冬休みも進めてください。決してあせらず、計画的に。

■2年生、生徒会活動や部活動をけん引する役目を担うようになって、自分たちの思いを伝える力が高まってきました。頼もしくなりました。

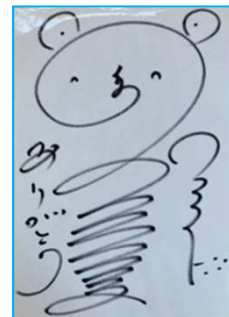
1年生、課題であった授業に向かう姿勢が随分よくなったと複数の先生方から聞いています。

■1、2年生は、この成長を3学期につなげられるような冬休みにしてください。

まずは、「**早寝・早起き・朝ごはん**」そして「**決まった時間に勉強を始める**」この4つを心がけてください。

■最後に、先日、ご講演くださった熊丸みつこ先生からのクリスマスの贈り物をご披露します。

熊丸先生のサインです。**一枚一枚手書き**ですよ。何のコメントもなく、ドンと郵送されてきたので、熊丸先生の気持ちを想像して、なりきって伝えます。



■いい、みんな、この間は、自分の命が3億分の1の確率で生まれた、かけがえのないものということ、隣のお友達も同じように大切な人ということ、思春期だから親や先生にイラっとするのは当たり前、順調だったこと、分かってくれてありがとう。

でもね、そういうことって、きっと忘れるのよ。人間だもの。どんなに感動したって薄れていくの。だからね、わたし、みんなにサインを贈るわ。これを机の前とか、枕元とかに貼っておいてほしいの。おうちの人が一緒に聞いてくれた人は、冷蔵庫の扉でもいいわ。そして、自分がつまらない人間だと思ふ時や、イライラした時、もう死んじやいたいとか思ってしまうようなとき、これを見てほしいの。そして思い出してほしいの。

「**自分を大事にしてね。絶対に死んではいけません。何かあったら誰かに話して。絶対に助けてくれる。みんな幸せになりなさい**」って。思い出してほしいの。

■こんな感じでしょうか。では、みなさん、ご家族に感謝しながら年末年始を過ごし、1月9日、元気に会いましょう。